



フクシマの子どもの未来を守る家

ニュース No.33 14/10/16 発行

☆今月の活動報告☆

* 10月4日(土) 講演会柏崎刈羽原発と「原発ゼロ社会への道」 *

～ さよなら原発酒田飽海の会主催 会場：酒田市若浜コミセン

講師：立石雅昭（新潟大学名誉教授、新潟県原発の安全管理に関する技術委員）～

● 立石先生のお話の一部をご紹介します ●

- ・ 柏崎刈羽原発は、3,700 KWの発電する原発が7基あり、世界最大規模の原発である。
- ・ 6・7号炉直下には、活断層が沢山走っている。また何度も隆起や褶曲を繰り返してきた地層の上に建っている。例えて言えば「豆腐の上の柏崎刈羽原発」と言える。「20万年前の断層は動かない」ということは、検証されていない。根拠のないことである。
- ・ (汚染瓦礫の保管場所、廃棄物の処分についての質問に答えて)
これだけ廃棄物が生み出されている。これをどこかにまとめて保管することは無理なので、100年単位で「各地でとりあえず」保管するしかない。政治的判断がなされると思う。原発の立地場所も最終的には政治的判断で無理やり押し付けられて来た。経済・文化的に疲弊している地域を狙い撃ちしてくる。
- ・ 汚染されたものを地下に貯蔵するとどうなるか…日本は地下水が豊富な国。
- ・ 自分達の大切な故郷をどう守るか、みんなで考えていこう。

(守る家サポーター4名参加)

* 秋の予定 *

○フクシマの家族の一時疎開と保養支援

10月11日～13日：1家族が福島市よりこられます。
(上畑ハウス)

○柿もぎ&芋煮会

10月26日(日)：9時～柿もぎ、10時半～芋煮会

鶴岡市谷定字宮下10番地「守る家」にて

☆参加希望×切は23日(木)。高橋か白幡までお願いします。

○10月27日(月)：こぴあ2階にて大震災原発問題学習実行委員会

☆11月29日(日)「いのちと放射能」講演会打ち合わせのための
実行委員会です。

※ポスター掲示、チラシを周りの人達に配布し、声をかけて

「いのちと放射能」講演会を成功させましょう!

